

令和3年度 第10回高島町新庁舎建設検討委員会 会議録

【日 時】 令和3年10月21日（木） 18時30分～20時4分

【場 所】 高島町中央公民館 201研修室

【出席者】（委員）宮原博通委員、白石信也委員、斎藤洋子委員、後藤昭委員、我妻里奈委員、
西方茂太委員、平崇委員、増田陽子委員、渋谷保委員
（町）企画財政課長、企画財政課長補佐、新庁舎建設推進室長、新庁舎建設推進室技師補、
公共事業整備専門員
（久米設計） 管理技術者、担当技術者2名

【傍聴者】 なし

【会議録】

1. 開会 18時30分

司会（事務局）による開会

2. 委員長あいさつ

今日は、この新しい土地利用の案について、議事の中でも伺うことになっているが、事前に手元に届いたこのプランをみて、本当に私たちにとって残念なプランになったかと、委員の皆さまもそう思われたのではないかと思う。これから検討委員会で揉んでいくうえで大切なことは、新庁舎の新しい位置だけではなく、このエリアは町の中核施設が集まる場所であるわけで、これから10年20年、40年50年先を考えて、この際、配置というものを考えなければならないのではないかと思う。この施設の位置だけではなく、全体の土地利用というようなことから、車や人の動線、このエリアに行政施設が集まる環境、そして町民の方たちが来やすい、誇りになるような施設の存在というようなことを考えて、庁舎周辺の施設といった老人福祉センターはじめ、上水道中央管理室や倉庫など、これらを含めての全体の土地利用を考え、そのうえでの道路計画であり、望ましい形を模索していくことが、当初のプランから変更していくうえで町民に納得してもらうことが大切なのではないか。プロポーザルのプランが素晴らしいものだっただけに残念であると思うし、町民の方からもそういった声を多く聞いている。そのようなことを踏まえて将来の土地利用で悔いの残さない、土地利用の形を求めていかなければならないと思う。久米設計さんもいらしているので、町の意向も含めて計画内容を伺って議事に掲げてある項目に沿って検討させていただきたい。皆さん、よろしくお願ひしたい。

（事務局）

ただ今、委員長からも話しがあったように予定していた土地が求められなくなり、最初の計画から変更になった。久米設計さんの企画提案が素晴らしかったもので、変更案をみるにあたって違和感はあると思う。幅なども制限が出てきたので2階建てから3階建てに変更になったが、利点もある。3階部分に議会棟を集約した。行政部門と議会部門が分かれたことで議会レイアウトが制限なく行える。以前は、2階の町民開放エリアに議会棟があり制限を受けていた。久米設計さんと協議を重ね、当初提案を活かす形で計画を進めた。基本計画に沿った配置計画変更を行った。本日は久米設計さんも同席しているので技術的なこともあれば聞いていただきたい。

今から説明申し上げるのは、当初計画では既存施設に手を掛けずに建設を進めることが出来るものだったが、将来的に解体する予定の施設を令和4年度中に実施しないと庁舎が建てられないという残念な結果になった。このことについて担当より説明させていただく。

3. 報告事項

令和4年度工事に向けた準備

- ・役場南側倉庫解体に伴う物品搬出
- ・東北電力柱の移設依頼
- ・敷地内下水道布設替え計画 など

(事務局)

資料を基に、来年度からの工事に向けた準備の説明

報告事項に対する質疑

(全委員)

質疑なし。

4. 議事

(1) 10/21 計画案について

(委員長)

10/21 計画案ということで、空間構成から施設配置、外構計画まで一体的に説明をお願いします。

(事務局)

敷地全体の計画から説明させていただくと、当初計画でもあった南北道路について、既存緑地の東側通路を延伸するとしていた計画を見直し案では高畠消防署前の通路を南側の町道高畠相森線まで延伸し接続する。また、町営体育館の南側を通る既存の通路を真っすぐ西側に延伸し、南北道路に接続する計画とした。更に既存庁舎と近隣住民への影響が少ない範囲を設定し、建物配置について久米設計さんと検討を行ってきた。将来的には、新庁舎の北側に老人福祉センター前を通る形で構内通路を延ばし、東西からもアクセスできるように考えている。

先ほども報告で説明したようにお祭り倉庫（役場南側倉庫）の解体の他に、新庁舎の西側に補助金をもらって建てた防災倉庫があるが、これも支障となることから来年度曳き移転を行う。

見直し前の案からみると新庁舎正面の駐車場は少なくなる。現庁舎と中央公民館の解体後、跡地を駐車場として整備を行う計画である。

外構の計画から始まり、図面で示しているエリアに収めたいということで、この位置に建物の配置を計画した。

来年度造成し、新庁舎周りの外構は開庁に合わせて駐車場整備、令和7年度に現庁舎解体と駐車場整備、令和8年度に中央公民館解体と駐車場整備を予定している。

こういったことで見直し案の計画を進めてきたところである。

(委員長)

冒頭、私が述べたような、この配置と将来の土地利用の関係、考え方を合わせて説明いただきたいと思

っている。東西の道路の話が出たわけだが、社会福祉センターや太陽の家、駐車場も含めて将来的にどう考えるのかが問われている。将来をにらんだ点でも、今回こうすることが将来の布石という見方をしても問題がないのだとか、将来の土地利用と併せて説明して欲しい。

(事務局)

新庁舎の北側には車庫群が点在しており、北西には老人福祉センター、西側に太陽の家と上水道中央管理室がある。消防署西側にも書庫と倉庫が3棟ほど建っている。新庁舎建設後、点在している車庫群を一つにまとめて、車庫・倉庫・永年文書庫を整備したいと考えている。老人福祉センターについては、築43年で老朽化しており建て替えの計画もある。時期は未定だが、建設場所も含めて検討することになる。

また、太陽の家は福祉センターと合築できないか考えている。上水道中央管理室は、データを管理している施設で、毎日人がいるような施設ではない。将来は西側、北側の施設を整理して、新庁舎と一体として使用できるように考えている。

(事務局)

付け加えると、南側に隣接する民地と老人福祉センター北側の民地はこのままでどうしようもできない。

今、説明した点在する車庫や倉庫は既存の庁舎に合わせて建てているため、新庁舎開庁後は非常に使いづらいものになるので、一箇所にまとめて整備する必要がある。

問題になるのは老人福祉センターの改修時期で、まだ決まってはいない。要望は出ている。大規模改修も行っており、昔、風呂があったが撤去して会議室などにしている。大分手を加えているので、まだ使える施設でもある。更に太陽の家は福祉作業所で増築などして整備をしている。これもどこに持っていくのか協議が必要な案件である。この二つが大きな問題となっている。

案として出ているのは、総合福祉センター的に老人福祉センターと合築して、どこかに移設できないかという話は出てきている。まずはこれが決まらなないと全体的な配置はできないが、これらを待たずして車庫や倉庫は整備しなくてはと考えている。

(委員長)

従来の計画であれば、今後の町のペースで考えていけばいいのだが、今、計画がこうなってきたときに新庁舎を建てる対象敷地がこれでいいのかということである。この範囲が5年後、10年後となったときにその時までのビジョンを持っておくべきではないかと思う。例えば、太陽の家を来年除却開始としても、老人福祉センターは43年だから耐用年数がまだあるから残しておくとしても、機能的にどうなのか、効率よく使われていけば残しておいてもいいが、その辺の実態も含めて考えて将来計画を考えたときに新庁舎の位置がここでいいのかという判断が必要ではないかと思う。

北側の車庫や倉庫は、今ここになくってはならないのかなど、色々検討すべきではないか。お祭り広場にしても前と同じように、この先考えるのだというのがよろしくないのではないかと思う。

(事務局)

そういった意味でも西側へ延びる通路がカギになると考えている。動線をよくして配置したというのがそこにある。これを基本に崩さないで考えていくのが今の段階。まだそういうのは決めていないが、これを軸として考えた結果、お示した配置でいきたいと考えている。

(委員長)

他の委員の方、ご意見ないか。

(委員)

期限が決まっている中で申し上げるのはつらいのだが、委員長が言われたように出来上がった時点で、数年間はものすごく使いづらい。解体もあるし道路整備も間に合うかどうか、新築移転を考えた時に手を上げて喜べるのか。どうせ作るならビシッと整備した段階で、みんなに喜んでもらえるような施設でありたいと思うが、過去に遡ることは出来ないので、この配置で仕方がないと言いながらも見せていただいて私なりに不都合なこともあると思う。消防署前の道路は8mとなっていて、消防車が出てくると前にはみ出してしまう。日常、訓練や車両の整備をしていてこの道路に飛び出してくることも考えられる。ぎりぎりでこの幅しか取れないのだと思うが、そういった不都合が考えられる。

あるいは、現庁舎の所が職員駐車場となっているが、新庁舎の北東角が交差点となり、職員はクランクで渡ってくるだろうか、私なら時間がない時は斜めに横断してしまうだろうと思う。そんな人の動きを考えたときに事故が起きなければいいなという思いで見させてもらった。

建物については後で述べさせてもらうが、竣工当時は非常に使いづらい状況で落成を迎えなければならぬという意見である。

(委員)

新庁舎を囲む駐車場の配置だが、空間的に狭く感じる。正面の南側エリアも身障者用の駐車エリアもあるが、どまホールの所が突き出ているので車の動き的に難しい様な気がする。初めて来た人が分からなくてぐるぐる回りそうな雰囲気があって、どこから入ってどこから出るのか難しいように感じる。

(委員長)

新庁舎に来庁者が入ってくる時のアクセスというのは、町道高島相森線からはどう入るのか。

(事務局)

町道高島相森線から直接入れるし、東側の道路からも入れる。正面はロータリーにしている。

(委員)

新庁舎の正面はどこか。

(事務局)

南側になる。玄関はどまホールの東側になる。

(委員長)

計画案にあるクランク部分の対面通行が苦しく感じるが。

(事務局)

外構はまだ確定はしていない。

(委員長)

外構は確定していなくても、いかにスムーズな動線が取れるかはこの段階で配置図に載せておかないといけない。詳細はまだこれから詰めるにしても、ここに新庁舎を配置したことで車動線をこうやって取れるんだというものがないといけないのではないかと。南側正面から西側へ抜ける際にクランクを通ることになるが、車動線に少し無理があるのではないかと。

(事務局)

将来的には、西側町道の仲江泉岡線から西側へも入れられるようにする。

(委員長)

西側からの通路が通ればそうかもしれないが、それまで数年ある。新庁舎が出来たときには、段階的に

おいても不都合なく通れるようにしておくべきではないか。

(委員)

新庁舎北側の通路は、開通するまで車は通れないのか。

(事務局)

敷地の高さの話になるが、ハザードマップ上、地盤高を標高 222.00m と決定しており、現在の職員駐車場と 1m ほどの高低差があるので、現庁舎の高さまで盛土が必要になってくる。新庁舎も同じ高さになってくるので、しばらくは外構整備が終わるまで段付きの形状で整備になると思う。太陽の家も移転しなければ段の下に配置になってしまう。そこも考えていただくと通行止めになる場所も出てくるかもしれない。外構計画の細かいところは作成中なので、開庁当時、すぐに理想形にはならないのでご理解をいただきたい。しばらくはご不便をお掛けすることになるが、南側駐車場を広くとって対応していきたいと思っている。

(委員)

南側をロータリーにしたときに、優先駐車のところバックで駐車する際に巡回する車と渋滞になって事故が起きないか。前方入り口の空間も狭く感じられ、タクシーなども停まるとなると優先駐車 2 列は邪魔に感じる。安全を考えるとここに駐車場を置くのは危ないと思う。

(事務局)

催し物を開催するときは渋滞になると思う。現庁舎を解体するまでは、図書館の駐車場を利用してもらうなど制限をかける。現庁舎を解体しないと駐車場は確保できないので、不便さは出てくると思う。通常役場の使用形態をみても南側の駐車台数は十分な台数だと思っている。それほど役場に長居する方はいない。計画では 26 台としているが、現況とほぼ変わらない台数を確保している。

(委員)

台数というより危なくないかと思っている。南側には障がい者用も 3 台あるが、頭から入れてバックで出ようとしたときに、下からも横からも来るし、自分はバックするというような視野の確認で非常に気を遣う駐車場だなと感じる。

(事務局)

気の使わない駐車場はないと思われるが、屋根付きの駐車場を考えたので建物に近い部分に配置した。ロータリー形状にしたため、広めに設定はしている。車寄せのスペースも屋根付きとしている。

(委員長)

駐車スペースと車路との関係を、もう少しゆったりで安全にと考えて欲しいという意見。全体的にみて実際の車の動きを考えると、窮屈な感じはある。これからのコミュニティというような動きを踏まえるとバスということも考慮していく必要があると思うが、久米設計さんの考えはどうか。

(久米設計)

プロポーザル当初から路線バスなどのバス停を作るというような話はいただいていない。

今、お話しがあったロータリーの件ですが図面上は窮屈に見えるが、経験的に車同士の間隔や庁舎前の車寄せと優先駐車場との離隔距離などは、ゆったり取れているので図面のみでみる以上に竣工後はゆったり感じていただけたらと思う。図面上ですと駐車マスも小さく見えますし、クランクするところも狭く感じるが、この辺の寸法取りはシビアに精査しているので、安全管理上はこの広さは十分だろうという判断で計画している。

ただ、路線バスなどがロータリーに入ってくる想定はしていないので、そういった条件が出てくれば、バスが駐車して乗り降りするスペースなど必要になるがそれは別な問題として、ご要望があれば取り組んで参る。

(委員長)

これから高齢化社会になっていくとコミュニティバスなどの町の足として考えていかなければならなくなると思う。

(久米設計)

そういった意味でも今回の東西方向の通路は、ロータリーで回っていくことではなくてパスできるようなことを優先に考えている。バスの運行という意味でも通り抜けできる道路というのは、将来的に考えても有効だと思うし、庁舎を交差点付近に隣接して配置しているのも災害時や路線バス等のアクセスを睨んでの計画だということをご理解いただきたい。

(委員長)

将来、大型の路線バスというよりは、コミュニティバスが横付けになった時に季節問わず、雨風雪に惑わされずに入れるアクセスも必要になってくると思う。その辺が色々な事を睨んでやっているが、そのスペックは町の方から出さなくては行けないが、将来の町民の足というものを考えて作らなければならないと思う。

(委員)

今の役場前の駐車場は何台停められるのか。

(事務局)

庁舎前だけだと40台前後になる。

(委員)

将来、町は高齢化が進んでくると思うが、それに対処した駐車場となっているのか。その辺を考慮して作られているのか、そういったことを考えないで誰でも停められるように設計されているのか、お聞きしたい。

(事務局)

駐車場の台数については、算定式があり、それに基づいて台数を算出している。必ずこの台数を確保する決まりはなく、その中で障がい者用については南側に3台、西側に2台、その他に優先者用として通常より幅広の駐車場5台を確保している。そういった根拠から障がい者用、優先者駐車台数を割り出しており、台数の縛りはなく、あくまでも算出上の台数としている。

高齢者にも配慮をしている。相森高阜線とは1mくらいの高低差があるので、出来る限り北側に配置し南側広場を広くした。駐車場エリアは水勾配程度の1/50としており、水捌けを確保するのに取らなければならない勾配としている。お年寄りの方も楽に出入りできるように配慮している。

(委員)

配慮していただいているのであれば良い。

(委員長)

除雪について伺いたい。堆雪場所はどこに持っていくのか。新庁舎の西側のスペース等はどこに持っていくのか。東側の図上でいうグリーンの所に持っていくのか。

(事務局)

東側も堆雪場所として利用できると思う。

(委員長)

職員駐車場もあるし、結構なスペースが必要になる。

(事務局)

現庁舎の解体までは苦勞すると思う。その後は今まで通り駐車場の中で処理できるようにしている。

(委員長)

駐車スペースを潰して雪を持っていくということ。

(事務局)

最初ご希望のあった防災広場などもないので、何らかの形で造っていきたいと思っている。消防署前の公園も緑地の確保でしばらく手を付けられないので、指定替えをして緑地を整備し、防災広場などの計画も今後していきたいと思っている。

(委員)

庁舎南側の身障者用駐車場3台には屋根付きとあるが、建物に入るところも屋根があるのか。

(久米設計)

車いす利用の駐車場から庁舎に入るまでは庇を付けるので雨に濡れることはない。

(委員)

庁舎西側の身障者用2台は駐輪場と一緒になので多分屋根は付くと思うのだが、車道を渡って行く方については濡れるのではないか。

(久米設計)

こちらについては、駐車場から庁舎に入るまでは屋根がないので、渡る際は濡れてしまう。継続検討をさせていただく。

(委員)

正面が中央公民館側とお聞きしたのは、役場機能が奥なので西側が正面だと思って勘違いをしてしまった。南側の点線で表示してある車はデマンドか、障がい者や老人をここで降ろしていくのかと思っていたが内容はわかった。

(委員)

出入口は各面毎に1箇所ずつあるが、平日はいつでもどこからでも入れるのか。

(久米設計)

今想定しているのは、町民の方が利用するのは南側と北東側。北側は主に職員用になる。職員用からの出入りは運用によるので、どういった扱いにするのかはこれから。西側については、バイク置場と障がい者用があるので開庁時には入れるものと想定している。

(委員)

東側は道路に面している。例えば、図面でいうと税務課に用事があって来た人は、現庁舎のあたりの東側の職員駐車場に駐車して道路を横断してくる可能性があると思うのだが、危なくはないか。

(久米設計)

道路の考え方だが、図面で色分けをすると公道を渡ってくるようなイメージになるが、最終的な位置付けについては今後になってくるが、今現在は敷地全体の中の構内通路という扱い。分かり易く言えば消防署前の通りや公園東側の通りと同じイメージ。当然安全対策などは配慮しなくてははいけない。周りの幹線

道路のようなスピードでの往来は想定していない。最終的には、横断歩道を設けるなど考えていかなければならない。

(委員長)

配置については、いろいろ意見が出たが、建物内部について意見はないか。

(事務局)

1階の特徴的なところは、主出入口を南側に設け町民開放エリアを通過して庁舎に入る。どまホール、研修室、多目的室、トイレ等を配置し中央公民館機能を持たせた町民開放エリアとした。

庁舎部分の執務スペースはコの字型で配置。利用頻度の多い窓口である町民課を正面に配置し、1階には来庁者が多くこられる課を配置した。西側には来庁者用のトイレ、階段、エレベーターを設け、北東側駐車場からの動線を考え、北東側にも出入口を設けている。また、南側正面から入って右手に階段を設け、2階への動線を確保した。

2階は、教育委員会、建設業者の来庁が多い建設課と上下水道課、執行部となる総務課と企画財政課を配置した。東側に2役室を集約。近くに災害対策本部となる庁議室を配置し、災害時の防災連携エリアとした。その他バックヤードには職員用の会議室を設けた。

3階は、議会専用エリアになる。傍聴者は西側のエレベーターや階段から昇り、議会事務局の前を通過して傍聴席に入る動線とした。これからセキュリティラインを考えていくが、傍聴席以外のエリアには町民の方は入れない。東側には職員用の厚生室を配置した。1、2階についても来庁者と職員の動線を明確に分けた形としている。

(委員長)

防災用品の倉庫は、どまホールの西側にある倉庫になるのか。

(久米設計)

イベントなどで使用するイスや道具を収納する倉庫として想定している。

(委員長)

防災用の倉庫はどこになるのか。

(久米設計)

防災用の倉庫については、プランの検討中であり、今のところ具体的にどこかは申し上げにくい。適宜検討していきたい。

(委員長)

どまホールも文化的事業で活用する時の倉庫は近くでよいが、ここも防災上有効なスペースであることはいいことだと思う。これに近い場所で寝具や食料など防災用品というのは結構なスペースが必要になる。今の新しい庁舎には踏まえてあるので、このプランを見て気になったところである。避難スペースの近いところに必要なのではないかと。機械室の近くに防災倉庫があれば望ましいと思う。機械室の配置は全体のゾーン計画から出てこないといけないが、単なるプランから言えばこの辺りにあれば良いと思った。今後検討されるということによいか。

(事務局)

最初に説明した防災倉庫は曳き移転をしてすぐ使えるようにしておく。場所は外部になるが南側の民家の近くを計画している。どまホールにも比較的近い。確かに内部は理想である。

(委員長)

どまホールは避難スペースにも活用出来るここに近いのが、実際の災害時は効果的だと思う。

(事務局)

これからも調整可能なので検討する。

(委員)

立面図が提示されていないので私のイメージとなるが、階段状の屋根ということで階段ピラミッドを連想した。庇の部分を含めると5つの屋根が出来るとなると思う。特に垂直面と水平面の距離が長くなり、雨漏りの危険性が非常に大きい。その辺はしっかりと施工なり監理をしていかなければならない。

外周部は、特に南面と東面は凹凸が多い。振動による亀裂が入りやすくなると思うので、その辺の強化も考慮していただきたい。

1階の中央公民館のエリアと業務スペースをラインDで区分されているが、日曜日など閉庁したときに活用する際にどこにシャッターが入るのか教えていただきたい。

全体的な面積表も拝見したが、3階の議会関係が非常にゆったりしているが、しわ寄せが中央公民館部分に来ているなという印象を置けた。特に1階中央公民館機能の研修室が2つあるが、真四角で中に机と椅子があればなんとかなるというものではないと思う。フレキシブルに使うためには、必ず収納スペースが必要だと思う。どまホールの倉庫もこの量では少ないと思う。多分このエリアは職員の訓令の場で使う予定になっていると思うのだが、演壇やステージ設備など通常フラットにしても高床になるような設備を作ってもらえれば良いと思うが、そういう風なフレキシブルに使えるようなことを考えると、収納スペースというのはもっと必要になってくるのではないかな。

まず一つは、中央スペースと業務スペースのシャッターはどこにあるか。

(久米設計)

どまホールの北側に縦格子を入れるとか、部分的にシャッターを入れる等、建具の在り方はこれから検討事項となってくるが、基本的にはこのラインで開放する部分と分ける。

(委員)

Dラインでシャットアウトするということか。そうすると土日の利用者がATMを利用できなくなる。

(久米設計)

ATMについては、現在、町と検討中である。

(事務局)

この図面も多少変更してある。ATMのスペースが広すぎた。1台で足りていたので外置きも考えられる。ただ、金融機関との協議も詰め切っていないが、外でもいいのではと考えている。

(委員)

土日も使えるように考慮した方がよいと思った。

(事務局)

ATM施設は大分経費が掛かるようで、金融機関も出来る限り引き上げたい考えである。現在も1社しか入っていない。残していただけるか確認もしていないので、その辺の話でどこに置か決まってくると思う。外の方が年中使える。電話ボックスのようなものもある。

(委員長)

コンビニのATMのようにシンプルになる。

(委員)

中央公民館機能のトイレだが、算出の仕方は、どのくらいの方が使うとこの数になるのか。男女でこの数だと土日に関わらずに間に合わないのではないか。加えて、西側の方が正面だと思ったというのは、エレベーターもすぐ傍でトイレも近くにある。障がい者の方が正面から入ってきてエレベーターはどこだろうと、遠くまで行かなくてならない。トイレはどこだろうとなると奥になってしまう。同じように中央公民館部分も、どまホールで何かあったときトイレは一番端まで行かなくてはならない。障がい者の方が使う時、どうやってこのクランクを曲がるのかなとか考えてしまう。私も車いすは使わないので、そこが悩んだところ。教えていただきたい。

(久米設計)

公民館機能のトイレの在り方については、もう少し時間をいただいて数もそうだが、多目的トイレへのアプローチも含めて再度提案させていただく。あと、入口とエレベーターと階段の関係だが、入ってすぐエレベーターと階段があるのは理想だが、庁舎の機能ですと南側のロータリーと入口と執務室と3階の議場の全体のバランスの中で決まってくる部分もあるので、サイン計画などで車いす利用者やハンディキャップの方の不自由が無いように十分検討していくのでご理解をいただきたい。

(委員)

信じているかどうか分からないが、北東と南西の角は鬼門と言われている。鬼門と裏鬼門になっているところに入口が2つある。あまりよいと言われていないところに通用口があるのはどうか。そんなのは迷信だと思えばそうなのだが、私は信者でも何でもないので、先祖代々の古代の人たちから言い伝えられてきたということは何かがあるからで、避けられるなら避けた方が理想的だと思う。北東の角の入口と西側の入口はちょうど鬼門に当たる。北東の角は鬼門、南西の角は裏鬼門で、角度でいうと真北からみて15度から75度のエリアに入っている。ただ、そういうものがあるということのを頭の片隅に置いてもらいたい。ここしか取れないというのであれば仕方ないが、前に言われていたなど、ならないように願うだけ。

(委員)

最初の予定では総合案内所とかあって、そこから窓口やいろいろなところに行ける予定だったが、それは無くなったのか。

(久米設計)

総合案内所は、ご要望いただければ中央の入口にカウンターを設けることは可能だが、窓口のカウンターで対応していただけるということで設けていない。自治体によって考え方があって、受付の案内の方をカウンターに常時配置してサービスを行っているところと、町民課などのカウンターで案内を兼用する自治体もある。運用によって変わるので引き続き検討をしていく。

(委員)

何回も言うようだが、どまホールと研修室はただ作っただけでは四角い立方体にしかないもので、それをどういうふうにするかで、ステージを設けることができるのか、映像などを流せるような暗幕装置とか設備の中にあるとよいと思うし、研修室はここで仕切るのではなくてフレキシブルに使うためには、中央の仕切りを可動間仕切りにするとか、一体として使える空間にするとかして柔軟性があつた方が使い道はあると思う。そこでやっぱり収納スペースというのは必要だと思う。

それから2階の南側はカーテンウォールで柱が見えないような形でガラス張りになるのか。

(久米設計)

そうです。自然採光のコンセプトでそうしている。

(委員)

そうすると並列の南側柱が書いてあるが、梁形があつてキャットウォークのようになるのか。

(久米設計)

そうです。一部梁の上は平場ができる。

(委員)

ここには清掃とかには入れるか。

(久米設計)

清掃は出来るように検討していく必要はある。

(委員)

どもホールの室内の部分が一部重なってくると思うが、入口の天井は低くなるのか。

(久米設計)

ここについては今検討しているところである。屋根の形状と防水の収まりも含めて検討していく必要はある。

(委員)

あと階段の踊り場の下空間があると思うが、ここは何かを使う予定はあるか。

(久米設計)

今のところは極力開放的にしたいと思っているが、このプランを検討していくうえで、倉庫なり、よくあるのは消火ポンプ室という可能性もあるので、そこは少し時間をいただいて基本的には無いのが一番望ましいのだが、ここについては継続検討していく。

(委員)

北側の階段はどうか。

(久米設計)

こちらも同様で、今のところオープンで何も無いのが一番いいと思っているが、西側の階段は一般の町民の方が頻繁に使う階段に対して、北側は職員が使うバックヤードの階段になってくるので、こちらに関しては職員の方と検討して倉庫にしたらよいのかを含めて検討していきたい。

(委員)

階段入口は狭くないか。

(久米設計)

これから詰めていくところで、1/200の図面なのでご容赦いただきたい。

(委員)

1階の農林振興課や税務課の後ろには壁がないのか。

(久米設計)

こちらについては家具のレイアウトはこれからで、スチールパーティションにするのかキャビネットを置くのか、その辺はこれから協議していく。壁がないということはないので家具を置くのか間仕切り壁を付けるのかこれから検討していく。

(委員)

町長にあいさつに行く際は、今は企画財政課に行って町長室に案内されるが、この流れだと後ろから入

ってきてどこに断つたらいいか分からない。そこら辺の動線はどうなるのか。

(久米設計)

企画財政課のカウンターで受付をしてもらって案内となる。本日の打合せでも指導があり、扉の位置や設えについて詳細はこれから検討になる。まだゾーニングというか、1/200のスケールで場所の精査をしているところである。

(委員)

これからは大いに変わる可能性もあるのか。

(久米設計)

大いにというかゾーニングです。ここに議会室があつて、執務室があつて、書庫があつてというような検討をしている。いくら細かく検討してもそこが変わるとまたやり直しになる。今はどの辺に部屋があるのかというようなことをご指導いただきながら進めている。

(委員長)

町にお聞きしたい。職員の昼食は、これからの時代、自席で食べるというようなことはないと思うのだが、その辺はどうか。

(事務局)

基本的には自席で食べられるようにしたい。ただ、食べられない職員もいる。窓口付近の職員は今も食べてはいないが、こういった職員のために1階も2階も執務室の中に休憩スペースを設けて、そちらで食事を取れるようにしている。他の自治体の例をみると、大変苦勞しているようである。3階に休憩室を作っているが全職員分の休憩室は当然取れないし、そういったことを考えると自席で食べられる方がいいような気がする。町長もその方がよいのではとの意見である。窓口の昼当番の職員は、勤務中に自席で食べるわけにはいかないので、休憩スペースで取ってもらおうようにする。オープンスペースなので仕切りを設け、打合せにも使用出来るスペースとしたい。3階にも休憩室を使ってもらってもよいと思う。

(委員長)

当然、シフトで対応することになるから全職員分というようなことにはならないと思う。

(事務局)

シフト制も川西町でやっているが大変そうである。

(委員長)

これからの職員の待遇として、従来のやり方として自席で食べていたからというのが捻じれてしまうのは時代遅れだと思うので、その辺の職員の方たちの更生という部分の考え方が大事だと思う。

高畠はよく考えているよね、職員はきちんと待遇しているな、というようなことが大事だと思うので、この辺の休憩スペースは、1階は数があり十分だが2階が1階に対して狭い感じがする。今後、考えてもらってスペースを生みだしていってもらえたらと思う。

(委員)

3階部分で職員の休憩室があるわけだが、男女別に分ける必要はないのか。普通は分けて設けるのではないかと思うのだが、動線を考えながら考慮してもらえたらと思う。

(事務局)

3階のスペースは、先ほど階段の所の話でも出たが、1階から3階まで階段を通さなくてはならないので、その角で3階の大きさが決まってしまう。かぎ状にすれば別だが、だいぶ広いスペースが残っている

ので検討する。

(久米設計)

十分検討の余地はある。男性、女性の休憩室を分けられる方向で検討する。完全に分けるというよりも可動間仕切りなどで一体運用も含めて検討する。

(委員)

3階の建物で南西の角にエレベーターがあって、ここにちょっとした空間6.4mほどあるが、例えば小学生とか見学に来た時に上まであがって、将来議員さんになりたいなんて言う子供がいるかもしれないが、新しい庁舎には見学に来ると思うが、その時に前回の案にもあったように、このエリアを少し前の方に迫り出すと飯豊連峰が眺められる景観だと思う。高島は広くこういう地にあるのだと、全体の位置を子供たちに知ってもらうためにも眺望できるような、ゆとりの空間的なものがあつたらいいのかなど。余りにも事務的な機能だけでなく、わくわくするような少しゆとりのあるような空間を創出できないかなという思いがある。

(委員長)

私も同感である。

(事務局)

前回の案は、久米設計さんも同じ考えで南側に議場があって一部はみ出た部分をテラスにしていた。

今回は、議会側がいつも使わない議場を日当たりの良いところに置いておく場合ではないという判断で、議場が北側になった。このあたりだけでも動かせるので検討を進める。

(委員)

前のプランだと、このあたりを前に出して子供たちが、「わあ〜」と歓喜しているイメージを持っていた。

(委員長)

そう、いいプランだった。その辺はこれからも考慮していただきたい。子供たちをどんどんこういうところに連れてこないといけない。子ども議会とかもやるようになると思う。

他にご意見ないか。ご意見なければ予定の時間となるので、これで閉じたいと思うが、如何か。

(委員)

最後に一つ、メインの階段は屋上まで行ける状態になっているか。

(久米設計)

屋上に機械を置く関係でメンテナンスもあるので、どちらかは屋上まで行けるように考えている。エレベーターは3階まで。

(委員)

久米さんのデザインでは議場にトップライトとかで光を入れるのか。

(久米設計)

当初、議場の上は、提案としては集成材を使って地場産木材を使って象徴的に作りたいと思っていた。

(委員)

最近をよくみられる。

(久米設計)

必ず地場産木材を使うというのはプロポーザル当初から要望事項に入っているなので、そういった象徴的な空間、議場の作り方ができるように提案していこうと考えている。

(委員)

各地の事例をみると同じような形になってきているので、プロのデザインのセンスを是非見せて欲しい。

(久米設計)

承知した。

(2) その他

特になし。

5. その他

(事務局)

次回開催予定日だが、定例打合せを行っている中で、まだまだ検討する事項があるので、その時期を見て皆さまにご案内する。目安としては12月に実施できたらと考えている。

6. 閉会 20時4分